

# 第2回パブリックコメントの結果及び対応（概要）

## 1. パブリックコメント実施概要

- 実施期間 令和4年8月1日（月）から令和4年8月31日（水）
- 周知方法 企画課窓口・各区役所市政情報コーナー  
各生涯学習センター、生涯学習交流館、図書館への配架  
企画課HP、報道機関に情報提供 等
- 提出方法 郵送、FAX、持参、電子申請

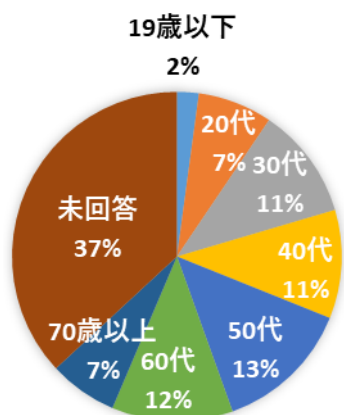
## 2. パブリックコメントの目的・ねらい

令和4年3月に実施した第1回のパブリックコメントでは、骨子案として「基本構想」「基本計画」「体系図」など、4次総全体の大きな方向性を示した上で、意見聴取を行った。  
今回は、原案として主に「分野別計画の取組」「分野横断的な重点政策」「区役所の取組」など、より具体的内容を示した上で、意見聴取を行った。

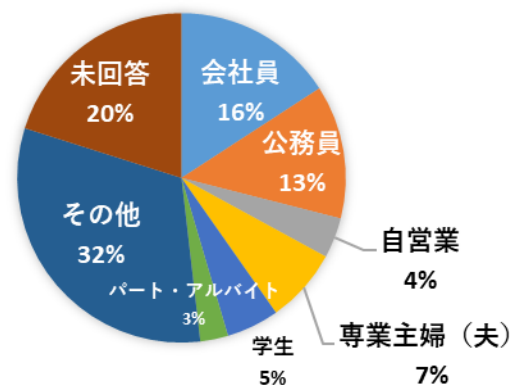
## 3. パブリックコメント実施結果

- 提出人数 328人
- 提出意見数 858件

年齢（人）	
19歳以下	7
20代	24
30代	36
40代	35
50代	44
60代	39
70歳以上	22
未回答	121
合計	328



職業（人）	
会社員	52
公務員	43
自営業	13
専業主婦（夫）	24
学生	17
パート・アルバイト	9
その他	104
未回答	66
合計	328



## 4. 分野別計画に対するご意見

Q1 4次総の基本計画のうち「分野別計画の取組」（原案8～28頁）の方向性について、ご意見のある以下の分野へ回答してください。

**【概要】**  
 分野別計画には688件のご意見があり、「⑤子ども・教育」「⑦都市・交通」の分野に、特に多くのご意見をいただいた。  
 「⑤子ども・教育」分野については、「これから子を産み育てる夫婦や、若者世代が出産育児を前向きに考えられるような施策の充実」といった各種支援制度についての意見や、ヤングケアラーや医療的ケア児への支援といった困難を抱える子どもへの支援が必要であるといったご意見があった。  
 また、「都市・交通」分野においては、「静岡市は交通の便が悪いためMaaSを推進し、移動しやすい街づくりを進めてほしい」、「障害者（車イス）が一人であっても、バスに乗せてもらえたり、タクシーを路上で利用できたり」といった移動手段について、充実を望む声をいただいた。  
 現時点で「今後の参考とする」としたものについては、実施計画の策定作業等の中で検討し、できる限り意見を反映するように努めていく。

分野ごとの意見（件）	対応方針（件）
①商工・物流 52	①反映する 22
②農林水産 47	②反映済み 132
③観光・交流 81	③今後の参考 494
④文化・スポーツ 71	④反映しない 35
⑤子ども・教育 101	⑤その他 61
⑥健康・福祉 86	
⑦都市・交通 91	
⑧社会基盤 53	
⑨防災・消防 41	
⑩生活・環境 35	
⑪分野全体 30	
合計 688	

※対応方針は、意見1つに対して複数選択しているものがあるため、総数は一致しない。

### 分野別計画に関する「反映する」「反映済み」の主な意見

分野	主な意見	市の考え方	反映
①商工・物流	政策1-②を「海洋産業分野における学術研究機能の拡充・新事業等の創出・高度人材の集積」に修正。国家の戦略産業「海洋産業」に対する地元自治体としての取組み市政を示すべき。関連団体・事業者と国・県・市の連携で、8年後20年後に広いすそ野を持つ「世界に輝く」静岡の産業に育成すべき。	「海洋産業分野における新事業等創出、研究機関・人材の集積」に修正します。	反映する
②農林水産	6次産業化の事が入っていません。6次産業化の推進とマーケティング支援が必要です。	6次産業化の推進とマーケティング支援は所得の向上につながる施策として重要であると捉えており、実施計画の中で施策を実施してまいります。	反映する
⑤子ども・教育	分野を代表する指標④に保育所等の10月1日時点の待機児童数が掲載されているが、静岡市は10月時点の待機児童数も0を目指していくのか。そうであるならばその旨を記載してほしい。また、参考データ欄には4月当初の待機児童数の推移しか掲載されていないため、10月の待機児童数の状況がわからないので10月の推移も掲載してほしい。	指標として掲げているとおり、保育所等における待機児童数については、年度途中である10月だけでなく、年間を通じた待機児童の解消を目指しています。また、待機児童数については、現在4/1時点の数を公表しておりますが、今後は10/1時点の数についても公表していく予定です。	反映済み
⑦都市・交通	障害者（車イス）が1人であっても、バスにのせてもらえたり、タクシーを路上で利用出来たりしたら、もっと更に行動範囲が広くなり、自立して、社会参加が出来るようになります。	現在、市内を走行する路線バスの70%以上が車いすの方にご利用いただけるノンステップバスに置き換わっており、おひとりであっても運転士の介助により乗降いただけます。また、UDタクシーの導入も進んでおります。今後も、誰もが安心して利用できる公共交通環境の構築を目指し、公共交通のバリアフリー化を継続してまいります。	反映済み

# 第2回パブリックコメントの結果及び対応（概要）

## 5. 「重点政策」「区役所の取組」に対するご意見

Q2 4次総の基本計画のうち「分野横断的な重点政策」（原案29、30頁）「区役所の取組」（原案31～34頁）の方向性について、ご意見のある以下の項目へ回答してください。

**【概要】**  
分野横断的な重点政策に63件、区役所の取組に29件のご意見をいただいた。

分野横断的な重点政策については、「分野横断的な重点政策の取組はどれも華やかな色を持っているので応援したい。」との意見がある一方で、(仮称)健康活躍のまちの推進の名称から「子ども・子育て」が連想できないため再検討して欲しいといった、表現のわかりやすさを求める声があった。

区役所の取組については、行政サービスに関するDXの推進や3区の立地や特徴を捉えたまちづくり関連はそれぞれの特色を出していく方向性は適当であるとの意見が見られた。

項目ごとの意見（件）		対応方針（件）	
分野横断的な重点政策	63	①反映する	7
区役所の取組	29	②反映済み	10
合計	92	③今後の参考	65
		④反映しない	1
		⑤その他	11

※対応方針は、意見1つに対して複数選択しているものがあるため、総数は一致しない。

### 分野横断的な重点政策に関する「反映する」「反映済み」の主な意見

項目	主な意見	市の考え方	反映
重点政策の名称	(仮称)健康活躍のまちの推進について、この名称では「子ども・子育て」がまったく連想出来ません。子ども・子育てが連想出来る名称に変更を希望します。	子ども・子育ての施策であることが市民にわかりやすいよう表現を検討し、反映します。	反映する
重点政策の順序	「市民が輝く」「都市が輝く」の順序であれば、「(仮称)まちは劇場とスポーツの推進」、「(仮称)健康活躍のまちの推進」が先で、地域づくりが後のような気がします。	ご意見のとおり、目指す都市像の「市民(ひと)が輝く」「都市(まち)が輝く」の順序に合わせて、「市民が輝く」に関わる政策である「(仮称)まちは劇場とスポーツの推進」、「(仮称)健康活躍のまちの推進」を先に記載するよう修正します。また、分野別の政策・施策についても、同様の考えのもと、記載の順序を修正します。	反映する
歴史文化	静岡駅～駿府城公園までの街並み(景観)について統一感のあるコンセプトづくり、再整備。	静岡都心の統一したまちづくりを推進することを目的に、令和4年に「葵歴史のまちづくりグランドデザイン」を策定しました。いただいたご意見を参考に、まちづくりを進めていきます。	反映済み
健康活躍	分野横断的な重点政策においては、街づくりを重視しすぎているように感じた。確かに、暮らしやすい街が必要であることに変わりはないが、街づくりに重きを置くのではなく、「人」を大切にしようとする政策が横断的に行われることを期待したい。	4次総の各種施策については、基盤となる分野別計画において中心に取り組み、分野横断的な重点政策においてその取組を加速させていきたいと考えています。ご意見のとおり、「人」を大切にしたいまちづくりを進めてまいります。	反映する

### 区役所の取組に関する「反映する」「反映済み」の主な意見

項目	主な意見	市の考え方	反映
個別施策	市役所と市民が一つになって初めて市の課題が解決できると思いますので、葵区の「葵チャレンジャー」等の地域の抱える課題への対処や、駿河区の「わがまち×わかまち会議」、清水区の「まちづくりミーティング」等の市民の意見を聞く場は今後も継続していくべき活動と考えました。また、有事の際に地域の被害を最小限に抑えるために、防災出前講座を始め、防災訓練参加率の低い若者も含めた市民を対象に防災意識(共助の意識)の向上を目的とした取り組みが重要になると思います。	区民意見の聴取は、住民主体のまちづくりを推進するために大変重要な取組であるため、今後も実施していきます。防災出前講座や人材育成事業等を継続的に実施することで、地域住民の防災意識の底上げに繋げていきます。	反映する
個別施策	移住を希望している人への取組を増やした方がよいのではないのでしょうか。	葵区中山間地域や清水区では人口減少が進んでいることから、移住体験施設の設置や移住者向けガイドブックの作成、移住相談員の配置、移住体験ツアー、まち歩き案内などを実施しています。今後も移住希望者のニーズに寄り添った取り組みを進めていきます。	反映済み
個別施策	清水区:区民が地域に愛着をもち…が全ての始まりだと感じます。他都市の人に清水区、静岡市の何たるかをわからせる前に、清水区民が合併した蒲原、由比を含めた清水を、もっと理解させる活動が未来につながると思います。	全ての区で「地域と一体となったまちづくりの推進」を進める中で、区民が地域への誇り・愛着を抱いていただけるような取組を進めていきます。	反映済み

## 6. 4次総策定に向けたアイデア及び自由記載

Q3 その他、4次総全体に対するご意見や、期待することなどを自由にお書きください。

**【概要】**  
Q1・2のほか、基本構想や基本計画、個別施策に関するアイデアや期待することなど数多くのご意見をいただきました。(詳細は「意見に対する本市の考え方と計画の反映」のとおり)